

森林クレジットの創出から販売までの取組事例

(株)栃毛木材工業 / (株)栃毛木材 専務 関口 啓

会社概要



事業内容：育林、林業、製材、チップ加工、
建築、不動産、Jクレジット

造林 → 植付け、下刈り、除伐、枝打ち

林業 → 立木伐採・搬出

製材 → 木材の皮剥ぎ、乾燥、加工

チップ → 建築材以外の材からパルプ・燃料

建築 → 総合請負、設計、建築

社員数：50名

コンセプト 「1本の苗木から家づくりまで」

Jクレジットを始めるにあたり

○良い点

- ・森林整備を吸収量が数字として目に見える
- ・Jクレジットを通じて環境問題に寄与できる
- ・森林所有者へ今までに無かった収入口になる

○懸念事項

- ・クレジット化するまでのノウハウ
- ・クレジットの買受先

森林吸収プロジェクト

- ・栃毛の森林プロジェクト 2021.4.1~
(栃木県山林)

- ・栃毛木材の森林プロジェクト 2022.4.1~
(群馬県、茨城県山林)

販売

クレジットの買受先

→販路の安定を目指し、足利銀行様と提携

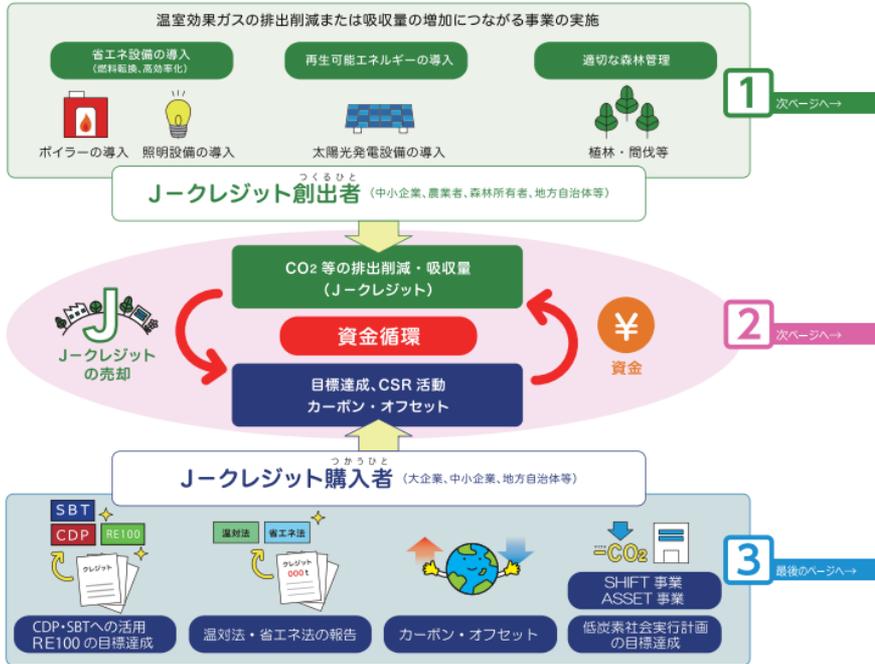
他業種である地元企業の顧客を多く持っている



J-クレジット制度



J-クレジット制度とは、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。



J-クレジット証明書

株式会社〇〇〇
代表取締役〇〇〇様

上記の者に対し
J-クレジット (森林吸収由来クレジット) を
次の通り譲渡する

プロジェクト名： 栃毛の森林プロジェクト
クレジット数量： 50 t-CO₂

令和4年8月 吉日
株式会社 栃毛木材工業
代表取締役 関口 弘

J-クレジット制度

森林吸収クレジット 1241t-co2 創出